

法人から多く寄せられた質疑応答集（達成状況評価）

※「#」欄黄色塗が修正・追記を行った項目であり、該当箇所を朱書きとしています。

令和7年12月更新版

#	質問	回答
1	達成状況報告書の作成にあたり、特に注意すべき事項はありますか。	<p>特に以下の点に注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己判定を i 判定とした場合は、《中期計画の実施状況》欄において、必ずその理由を記載してください。 (D) 自己判定を iii 判定とした場合は、《中期計画の実施状況》欄において、定量的・定性的評価指標に関わらず必ず特記事項を記載してください。 (E)
2	定量的な評価指標の実績値の入力にあたり、評価指標の達成時期を「第4期の合計」としている場合の記載方法はどのようにしたらよいでしょうか。	目標値が「第4期の合計」となっている指標の場合、各年度の「実績」欄には当該年度までの「累計数」を入力してください。
3	目標値を「第4期中の平均値」としている指標の場合、「実績」「見込み」欄には、各年度の単年度実績を記載すべきでしょうか。あるいは、当該年度までの平均値を記載すべきでしょうか。	目標値が「第4期中の平均値」となっている指標の場合、「実績」欄には当該年度までの平均値（例：令和5年度は令和4年度～令和5年度の2年平均、令和6年度は令和4年度～令和6年度の3年平均）を記載してください。「見込み」欄には、当該年度までの見込み値で平均値を算出し、記載してください。
4	実績報告書作成要領の達成状況報告書の記載イメージの「中期計画の実施状況」で「<令和4～7年度の実績及び令和8～9年度の見込み>」とありますが、文部科学省の業務の実績に関する報告書の様式例の「中期計画の実施状況」では、「<令和4～7年度の実績>、<令和8～9年度の見込み>」の別に記載するようになっていますが、実績報告書作成要領の記載のとおりでよいでしょうか。 また、中期計画の実施状況の<令和4～7年度の実績>と<令和8～9年度の見込み>を分けて記載してよいでしょうか。	<p>達成状況報告書と業務実績報告書の記入方法は、全くの同一ではありません。</p> <p>第4期中期目標期間の実績報告書は、極力報告書の様式を文部科学省と機構で揃えることとしていますが、評価主体が違うことや、評価対象として見るものが違うこと等により、記入方法は必ずしも同一ではありません。中期計画の実施状況については、<令和4～7年度の実績>と<令和8～9年度の見込み>を分けないで記載してください。</p>
5	達成状況評価における現況分析結果及び研究業績調書の取扱はどのように活用されますか。	第4期の教育研究に関する達成状況評価を行うに当たっては、学部・研究科等の現況分析結果を直接加算・減算する形で活用することは難しいとは考えておりますが、評価のプロセスの中で両者の連関性は維持される必要もあると考えております。

法人から多く寄せられた質疑応答集（達成状況評価）

※「#」欄黄色塗が修正・追記を行った項目であり、該当箇所を朱書きとしています。

令和7年12月更新版

#	質問	回答
6	<p>達成状況報告書の「全体的な状況」の項目については、「文部科学省国立大学法人評価委員会に提出するものと同じものを提出してください」と「法人が作成している統合報告書や大学の概要等の提出をもって、代えることが可能」とありますが、</p> <p>①分量の目安はありますか。</p> <p>②代替の資料名と公表URLのみの記載も可能でしょうか。</p> <p>③代替可能かどうかについては各法人で判断してよいでしょうか。</p> <p>④各中期目標の記載項目から抽出した内容を記載してよいでしょうか。</p>	<p>基本的に文部科学省の様式例に記載のとおり、文部科学省国立大学法人評価委員会に提出するものと同じものを提出してください。</p> <p>①文部科学省様式で1枚程度としてください。</p> <p>②代替資料を提出する場合は、資料名と公表URLのみの記載も可能です。</p> <p>③資料の内容を踏まえ、各法人にて判断してください。</p> <p>④文部科学省の様式例の記載方針を鑑み、法人にて判断してください。</p>
7	<p>達成状況報告書（様式）の「【評価指標】の達成状況」では、</p> <p>1) 定量的な評価指標→2) 定性的な評価指標の順で記載されていますが、例えば、一つの中期計画に対して2つの評価指標があり、その順番が①定性的な評価指標→②定量的な評価指標であった場合、評価指標の附番順に併せて、</p> <p>2) 定性的な評価指標→1) 定量的な評価指標の順で記載してもよいでしょうか。</p>	<p>各法人で設定された評価指標の順番にかかわらず、定量的な評価指標→定性的な評価指標の順に記載してください。</p>
8	<p>一つの評価指標に定量的な事項と定性的な事項の両方が含まれている場合、全体として「定量的」あるいは「定性的」と判断されるのは文部科学省と法人側の確認により決まるという理解でよいでしょうか。（法人側のみの判断で変更することはできないという理解でよいでしょうか。）</p>	<p>法人側の判断によります。</p> <p>なお、評価に際しては、達成状況評価の共通方針に示したとおり評価指標全体の判断が行われます。</p>
9	<p>文部科学省へ提出する実績報告書と同じ文字ポイント/明朝体（10ポイント）でよいでしょうか。</p>	<p>認識のとおりです。</p>
10	<p>Q&A問4-4において、カラー使用や太字等を用いても問題ないかとの質問に対して、評価者提供時に元の様式に戻すため初期化される可能性があると回答いただいておりますが、これは『カラーや太字等の使用は禁止』との認識でよいでしょうか。</p> <p>一方で、達成状況報告書においては、ある一定の条件において下線を付すよう指示されており、報告書における下線の使用は認められているようにも読みます。記載のルールについてどこまでが許容範囲なのか、初期化の詳細な内容についても具体的に示していただけますでしょうか。</p>	<p>法人提出資料を評価者へ提供する方法等は現時点で確定しておりませんが、フォントの変更等があった場合、文字属性（文字色、文字サイズ等）が初期化される可能性があります。</p> <p>また、委員会等における資料として法人から提出いただいた資料を印刷する場合は、カラー印刷ではなくモノクロ印刷いたします。</p> <p>このような状況であることを踏まえ、文字色等を用いるか否かを法人にて判断してください。</p>

法人から多く寄せられた質疑応答集（達成状況評価）

※「#」欄黄色塗が修正・追記を行った項目であり、該当箇所を朱書きとしています。

令和7年12月更新版

#	質問	回答
11	達成状況報告書の「中期計画の実施状況」には、DEFGの項目を見出しとして記載してよいでしょうか。記載を統一するため、実績報告書も同様に見出しを記載しようと考えています。	DEFGの項目に見出しを設けていただきても差し支えございませんので、法人にて判断してください。
12	評価指標番号の記載方法は法人側で決めてよいでしょうか。あるいは、機構側で想定している記載方法はありますか。	法人で設定した評価指標番号を記載してください。 達成状況報告書様式の配布時にお渡ししている「【別紙2】達成状況報告書の作成に当たって」P4を参照してください。
13	特記事項へ記載する際、どの評価指標に係る記載であるか分かるように評価指標番号を記載したほうがよいでしょうか。あるいは、記載しなくてもよいでしょうか。	法人にて判断してください。
14	中期計画のうち評価指標の設定がない事項について、記載した内容が達成見込みであることを冒頭に記載したほうがよいでしょうか。その際、各法人共通の文言はありますか。 特記事項に関しては評価指標の設定の有無で区別することを求めていないとありますか、明記しなくてもよいでしょうか	法人にて判断いただき、できるだけわかりやすくご記載してください。 各法人共通の文言はございません。
15	①項目立てた事項のタイトル、別添資料参照の記載は400字に含みますか。 ②全角、半角のカウントは同じでしょうか。 ③日本語は全角、英字は半角、一桁の数字は全角、二桁以上の数字は半角でよいでしょうか。 ④「・」を記載する場合文字カウントに含まれますか。 ⑤事項ごとに箇条書きの形式で記載するという理解でよいでしょうか。 ⑥文字カウントについては空白を含むため、見た目上の文字数のカウントとすることはできないでしょうか。	①、④いずれも文字カウントに含まれます。 ②全角、半角ともに1文字としてカウントしてください。 ③法人にてご判断ください。 ⑤ご理解の通りです。 ⑥文字数は、文字数カウント機能のうち「文字数（スペースを含める）」でカウントしてください。
16	別添様式に書式の指定はありますか。 ヘッダーの指定（大学名の記載）はありますか。 ファイル形式の指定はありますか。	別添様式の指定はありません。法人内で平仄がとれていれば差し支えありません。 別添のファイル形式についてはPDFを予定しております。

法人から多く寄せられた質疑応答集（達成状況評価）

※「#」欄黄色塗が修正・追記を行った項目であり、該当箇所を朱書きとしています。

令和7年12月更新版

#	質問	回答
17	様式を修正した場合は機構との共有は必要でしょうか。（中期計画の変更がない場合には不要という理解でよいでしょうか。）	中期計画の変更のほか、文部科学省了承のもと評価指標を変更した場合や、評価指標を定量から定性に変更した場合は、「達成状況報告書様式のご案内」にて連絡のとおり「記載内容に変更が生じる場合には、当機構との間で最新の内容を共有し続けるため、本様式見え消し版で更新いただく」よう依頼しておりますので、変更した場合は見え消し版をSharePoint上にアップロードし、当機構へ連絡ください。
18	中期目標の実施状況欄において定量的評価指標の場合、基準値、目標値等の数値をすべて交えながら述べることが必須でしょうか。必要に応じて引用する程度でよいでしょうか。	必須ではありません。 必要に応じて引用していただいても構いません。
19	中期計画の実施状況として、見込みの記載はどのくらい必要でしょうか。	中期目標期間終了時に見込まれる中期目標期間における業務の実績（令和4年度から令和7年度の実績及び令和8年度、令和9年度の見込み）の評価を行いますので、見込についても評価指標を達成しているかを評価者が判断できるよう記載をしてください。
20	複数の評価指標があり、全体的に定性的な評価指標とされる場合、定量的な評価指標は進捗欄に記載とありますが、数値等の記載や図表の使用が認められないところ、文書で表現する必要があるということでしょうか。	全体として「定性的な評価指標」と判断される場合に、定量的な事項に係る達成状況（基準値や目標値、実績値等）を「進捗等」欄に記載していただく際は、実績や見込み等も含め、図表等を使用せず、簡潔に記載してください。なお、図表等を使用する場合には別添（一つの中期計画ごとに最大1頁）としてください。
21	字数制限のある中で実績値の内訳も詳細に説明が必要でしょうか。記載すべき内容は、指標のつくりや実績に至った要因のどちらに力点をおいて記載すべきでしょうか。	記載方法の指定はありませんが、基準値及び目標値の設定状況や目標の困難度等を踏まえ、その実績（見込みを含む）が優れた実績・成果等に至った取組や活動を記載することが考えられます。
22	定量的な評価指標の達成状況の自己判定が ii 判定の場合、特記事項への記載は不要でよいでしょうか。記載した場合でも評価者から評価されないでしょうか。 少し上回った場合には記載したほうがよいでしょうか。	必須ではありませんが、特記事項に記載することを妨げていません。 記載がある場合、評価者が特記事項として抽出することもあります。
23	定性的な評価指標の達成状況の自己判定が ii 判定の場合、優れた実績や成果の記入の記載は想定されないのでしょうか。	自己判定が ii 判定の場合でも《中期計画の実施状況》欄での特記事項（優れた実績や成果等）を記載することはできます。
24	定量的な評価指標の自己判定を iii 判定とする場合、目標値の設定状況や困難度を記載してよいでしょうか。その際、下線は必要ですか。	《中期計画の実施状況》欄に下線を付して記載してください。

法人から多く寄せられた質疑応答集（達成状況評価）

※「#」欄黄色塗が修正・追記を行った項目であり、該当箇所を朱書きとしています。

令和7年12月更新版

#	質問	回答
25	定性的な評価指標がiii判定となるには、見込まれる優れた実績・成果にはどのようなものがありますか。定量的な記述は不要でしょうか。	定性的な評価指標の場合においても、iii判定とするには、特記事項への記入が必要となります。定量的・定性的な記述によって、評価者が優れた実績・成果があると判断できるよう記載してください。
26	Q & A問1-12に関する文部科学省「第4期中期目標期間評価における業務実績評価実施方法に関する説明会」（令和6年3月18日開催）において、「事前質問事項への回答」Q1で、4年目終了時評価の時点の達成水準の目安は「3期は概ね67%（4年／6年）の推移で達成見込と判断」との記載が参考としてありました。第4期の教育研究の評価の際は、「Q & A」とおり、「機械的な達成率ではなく、総合的に判断」されるということでよろしいでしょうか。	認識のとおりです。
27	①iii判定の目安が130%以上とされていますが、数値の大小に依存するため、ある程度機械的に自己判定した方がよいでしょうか。「130%以上が目安」という公表前に目標値を高く設定しており、130%には達しないが優れた実績がある場合、iii判定としてよいのでしょうか。（②評価者に考慮されますでしょうか。） ③130%以上であっても大学が困難度を低いと判断し自己判定をii判定とした場合、評価時にiii判定へ変更される可能性はあるのでしょうか。 ④「130%以上を目安」としつつも、基準値や目標値の設定状況や目標の困難度を踏まえて判断されるとありますが、130%以上でもiii判定とならない基準があるのでしょうか。	①ある程度機械的に自己判定しつつ、基準値及び目標値の設定状況や目標の困難度等を踏まえて、iii判定とすることも可能です。 ②評価者が、その根拠となる優れた実績・成果を「優れた点」として抽出することができる場合は、iii判定とすることも有り得ます。 ③法人がii判定と自己判定しても、評価者がiii判定とすることも有り得ます。 ④基準はありません。
28	「目標の困難度等を踏まえて判断する」とありますが、困難度はどのような要素で判断されるのでしょうか。	基準はありません。
29	評価指標の目標値に達する見込みがなく、i判定となる場合に、困難度や状況を考慮してii判定となることはあり得るのでしょうか。	評価者が、そのように判定とすることも有り得ます。
30	毎年度の目標値を設定している評価指標について、ある年度のみ達成していない場合、それをもって直ちにiと判定されるのでしょうか、あるいは4年間の実績及び今後の見込みを総合的に判断して判定されるのでしょうか。	評価者は、4年間の実績及び見込みを総合的に判断して判定することから、直ちにi判定とするわけではないと考えます。

法人から多く寄せられた質疑応答集（達成状況評価）

※「#」欄黄色塗が修正・追記を行った項目であり、該当箇所を朱書きとしています。

令和7年12月更新版

#	質問	回答
31	自己判定の際に i 判定として理由を記載する場合に、不可抗力の外部要因と考える場合は、それがわかるように記載すればよろしいでしょうか。	認識のとおりです。
32	定量的な評価指標の達成状況の自己判定について、目標値が 2 つある場合、1 つが未達の場合の自己判定はどのように取り扱えばよいでしょうか。もう 1 つ目標値の実績が優れていれば、「達成水準を満たすことが見込まれる（ii）」として自己判定してよいでしょうか。	法人にて判断してください。 なお、「評価者向けの達成状況評価における共通方針」P2において、「一つの定量的な評価指標に複数の目標値が含まれている場合には、それぞれの目標値の達成状況を判断した上で評価指標全体の判定を行う。そのうち一部の目標値が達成していないと判断される場合には、原則 iii 判定とはしないが、複数の目標値の達成状況を平均化したものに基づいて判断するものとする。」とされていますので参照してください。
33	「意欲的な評価指標」について、未達成となったとしても、「教育研究の質の向上や高い教育研究水準の実現が確認できる場合」は、i 判定とならないとのことですが、当該指標の中期計画の達成状況に限らず、他の中期計画や目標の達成状況も含めて総合的に確認されるということでしょうか。 また、その場合、法人はどの欄に実施状況を記載すればよいでしょうか。	評価者が「教育研究の質の向上や高い教育研究水準の実現」が当該指標において確認できる場合は、i とは判定されないものと考えます。 なお、「意欲的な評価指標」の自己判定に関する事項は、当該指標が記載されている中期計画の「《中期計画の実施状況》」欄に記載してください。（実績報告書作成要領P6を参照）
34	目標値について未達成となった場合、大学の自己判定において必ず i 判定すべきでしょうか。 評価者から「達成水準を満たさないことが見込まれる（i）」と評価されることがある場合、その条件はありますか。	法人の自己判定において、達成水準を満たさないことが見込まれる場合には i 判定としてください。評価者は総合的に判断するため、明確な基準等はありません。
35	目標を達成できなかった場合に、達成に向けた取り組みは、どの程度考慮していただけるのでしょうか。特色ある点の +0.1 のみでしょうか。	評価者が i 判定とした場合は、当該指標から特色ある点は抽出されることはありませんが、評価者が達成に向けた取り組みを評価される場合には、当該中期計画において特色ある点（+0.1点）として抽出されるることは考えられます。ただし、この場合においても優れた点（+0.2点）として抽出されることはありません。
36	定量的な評価指標の実績値等を記載する際、数値が存在しない場合はどのように記載すればよいでしょうか。例えば、令和 6 年度及び 8 年度に実施する調査の結果を指標にしている場合、それ以外の年度についてどのように記載したらよいでしょうか？	評価指標の内容でご判断いただき、対象年度に実績がない場合は「0」（ゼロ）、また対象年度ではない場合は「-」（バー）を記載してください。ご質問の事例の場合は、「-」を記載してください。また、「-」となる理由についても補足欄にて説明することができます。
37	基準値及び目標値を平均値や割合で設定している場合、実績値の小数点以下の扱いについて、第何位まで表記する、四捨五入（切上げ・切捨て）をする等のルールはありますか。	実績値において小数点以下を第何位まで表記するかは、法人でご判断して構わないですが、目標値を閾値と考えて実績値を切上げることはしないでください。

法人から多く寄せられた質疑応答集（現況分析）

※「#」欄黄色塗が修正・追記を行った項目であり、該当箇所を朱書きとしています。

令和7年12月更新版

#	質問	回答
1	現況分析基本データに用いるデータについて、9月30日の提出締め切り以降、今年度中と来年度の2回修正期間が設けられる予定と聞いていますが、具体的なスケジュールを教えてください。	今後のデータ追加・修正は、令和8年1月に限り、すべての年度調査票に対して追加・修正が可能です。ただし、令和8年度の夏頃に予定している修正は、令和7年度の期末締めに関するデータ（卒業、科研費等の費用関連）の追加に限られ、それ以外の項目及び現況調査表の記載内容については追加修正できませんのでご注意ください。
2	指標データの提供について、当初スケジュールでは令和7年11月頃を示されていましたが、変更はないでしょうか。また、現況分析基本データシステム説明会終了後にデータの入力機会が今年度内に2回予定と変更されましたが、2回入力機会があることによって、指標データも2回提供されるのでしょうか。	変更はありません。また、指標データの提供につきましてはご認識のとおりです。 2回目の提供については、 令和8年1月16日までに追加・修正いただいたデータをもとに令和8年2月上旬 を予定しております。
3	現況分析において、現況分析基本データや教育研究活動に関連するデータは、具体的にどのように活用されますか。	作成要領に記載のとおり、現況調査表の特記事項では「優れた取組及び特徴的な取組、並びにそれらの成果を記載する事項」を記載していただきますが、現況分析基本データ等の指標はこれらの根拠等として活用されるものと考えております。
4	現況調査表の図表等の別紙の様式に決まりはありますか。提出する際の表紙の有無、提出するファイル形式、フォント、余白、縦横の指定、ヘッダー・フッターの設定等の指定があれば教えてください。また、図表等はカラーで作成してよいでしょうか。	現況調査表に添付する別添図表の様式は特段の指定はありません。 法人提出資料を評価者へ提供する方法は、現時点で確定しておりませんが、フォントの変更等があった場合に、文字属性（文字色、文字サイズ等）が初期化される可能性があります。 また、委員会等における資料として法人から提出いただいた資料を印刷する場合は、カラー印刷ではなくモノクロ印刷いたします。 このような状況であることを踏まえ、文字色等を用いるか否かを法人にて判断してください。
5	本文において別添の図表を参照したい場合、どのように記載すべきでしょうか。法人の判断で良いのでしょうか。 例：「～という成果が示された（別添〇、図1）」	法人にて判断してください。
6	現況調査表において、「研究業績説明書の記載内容と重複させてはいけない」とありますが、達成状況報告書に記載された実績内容を「教育／研究の水準」に重複して記載することは可能でしょうか。	重複して記載することも考えられます。

法人から多く寄せられた質疑応答集（現況分析）

※「#」欄黄色塗が修正・追記を行った項目であり、該当箇所を朱書きとしています。

令和7年12月更新版

#	質問	回答
7	Q&A問2-14において、「研究業績説明書と重複しない内容としては、従前の分析項目（研究活動の状況）に係る取組や活動、それらの成果が中心に記載されることを想定」との記載がありますが、成果の部分については一定の重複があってもよいでしょうか。	同じ業績をダブルカウントしないという原則から研究業績説明書と同じ内容は記述できません。研究組織における活動を説明するために、研究業績説明書に記載した内容そのものではなく、関連する活動を記載するケースはありえると思われます。ただし、評価者が研究業績説明書に記載の内容と同じであると判断した場合は、優れた点や特色ある点としては抽出されないこととなります。
8	「研究活動状況に関する資料」は、Q&A問2-17において、「分析に当たっての確認事項」への回答時（令和8年9月頃を予定）に提出可能となっていますが、1回のみの提出が可能（それ以降の提出は不可）という理解でよいでしょうか。また、現況調査表にデータを使用しない場合も、基本的には現況調査表と同時に提出するものという理解でよいでしょうか。	「研究活動状況に関する資料」は、令和7年度の内容も含まれることから、必ずしも現況調査表（提出期限：令和8年5月29日）とともに提出する必要はなく、「分析に当たっての確認事項」への回答時（令和8年9月頃）に提出することを可能としております。 また、現況調査表にデータを使用しない場合でも現況の分析（研究）にあたり必要となりますので、「研究活動状況に関する資料」は提出してください。
9の1	「研究活動状況に関する資料」は、現況分析単位ごとに提出するものと理解していますが、現況分析単位によって5月に提出するものと、9月頃のみ提出するものがあっても差し支えないでしょうか。	認識のとおりです。
9の2	「研究活動状況に関する資料」を現況調査表の提出と同時ではなく、「分析に当たっての確認事項」への回答時（令和8年9月頃を予定）に提出した場合、書面審査に影響を与えることはないでしょうか。 また、令和8年5月29日以降の提出が可能とされていますが、令和4～6年度分を5月29日までに提出し、令和7年度分のみ実績確定後に追加で提出するといった対応は可能でしょうか。	「研究活動状況に関する資料」には、研究に関する現況調査表の記載を行う際に、研究活動について記載いただることとなりますので、「研究活動状況に関する資料」の内容も活用できるものと考えております。そのため、「研究活動状況に関する資料」の作成を通じて、各法人において現況調査表を記載いただく際に、法人は研究組織の研究活動状況を把握できるものと考えておりますが、提出時期により評価において不利になることはありません。また、令和7年度分のみ書面調査後の各法人に対する「分析に当たっての確認事項」への回答時に提出することは可能です。 ただし、「研究活動状況に関する資料」の内容を現況調査表に引用している場合は、提出期限（令和8年5月29日）までに併せて提出してください。 5月に一部の現況分析単位分のみ提出した場合、9月に提出する際は、未提出分のみではなく全体版として提出してください。 現況調査表の提出期限（令和8年5月29日）に間に合わない資料については、「分析に当たっての確認事項」への回答時（令和8年9月頃を予定）に追加提出してください。 5月に令和7年度分の数値を見込み・暫定数値で提出した場合、9月に確定数値に訂正して提出することも可能です。ただし、見込み・暫定数値で「現況調査表」を提出した後、見込み・暫定数値が変更しても提出した「現況調査表」の内容を変更したり、再提出したりすることはできません。

法人から多く寄せられた質疑応答集（現況分析）

※「#」欄黄色塗が修正・追記を行った項目であり、該当箇所を朱書きとしています。

令和7年12月更新版

#	質問	回答
10	実績報告書作成要領P12、15に「実績や成果の内容（アウトプットやアウトカム）については、第3期中期目標期間終了時点から評価時点までの変化を具体的かつ客観的に記載すること。」とありますが、第4期からの新たな取り組みの場合で第3期のデータがない場合でも、当該取り組みを記載してもよいでしょうか。また、将来の見込みを記載してもよいでしょうか。	第4期中期目標期間からの新たな取り組みについて、記載することは可能です。ただし、データがない場合でも、第3期中期目標期間終了時点からどのような変化があったかということについては記載してください。 なお、現況調査表は令和4年度から令和7年度の4年間について記載するものですので、将来の見込みは記載しないでください。
11	現況調査表について、公表された様式だと1ページにつき1,200字の記載ができないように思われますが、行間を変更して編集してよいでしょうか。また、実績報告書作成要領P14及びP17において、「本文（以降）の頁では、用紙の右上に大学及び学部・研究科等名を記入」とありますが、実際の様式ではヘッダーの設定がされており、奇数頁では右上、偶数頁では左上となっています。全て右上の記載となるよう修正する必要があるのでしょうか。	現況調査表の行間を狭くする等の様式変更は一切行わないでください。 様式は、指定した項目名、改行時の空白も含めて、1頁1,200字（ゴシック体11ポイント、全角40字×30）で設定しております。法人においては記載内容を厳選していただき、記載は指定した頁数内に収めてください。また、ヘッダーの設定はWordの様式に従って記述してください。偶数ページは左上になります。
12	特記事項を記載するにあたり、全学的に実施している取り組み、かつ各学部・研究科の特徴になっている取り組みを記載してよいでしょうか。また、このような取り組みについて、複数の学部・研究科の特記事項に一部同一の内容を記載してよいでしょうか。	全学的な方針のもとで、各現況分析単位での特徴的な取り組みについては記載いただいて構いません。 また、複数の現況分析単位において、その取組を共同して行っている場合などについては一部同一の内容を記載することも考えられます。
13	現況分析において、「優れた点及び特色ある点の個数は合計2個を上限」とあるが、評価者は両方合計して2個まで抽出できるという認識で正しいでしょうか。 また、法人から提出する現況調査表に記載できる取り組みは、2個に制限するものではないという理解でよいでしょうか。様式、頁数の上限を守っていれば、いくつでも優れた取り組み等を記載してもよいということでしょうか。	認識のとおりです。 また、法人が記載する特記事項の数については、頁数上限を超えない範囲（「教育の水準」の分析の場合は最大3頁、「研究の水準」の分析の場合は最大2頁）で上限はありません。（Q&A問2-9参照）

法人から多く寄せられた質疑応答集（現況分析）

※「#」欄黄色塗が修正・追記を行った項目であり、該当箇所を朱書きとしています。

令和7年12月更新版

#	質問	回答
14	「第4期中期目標期間の教育研究の状況についての現況分析における共通方針」及び「評価作業マニュアル」において、「第4期中期目標期間に係る特記事項」を基に抽出された「優れた点」や「特色ある点」、現況分析基本データ及び政府公表データを同じ学系内における他法人の学部・研究科等との比較や当該学部の経年変化等の分析により、加点・減点することが示されていますが、具体的な加点・減点の基準や事例について教えてください。	学系ごとの現況分析部会において決定される予定であるため、現時点では基準や事例を示すことはできません。
15	現況調査表について、第4期中期目標期間中に学部の改組を行い、新組織と旧組織の継続性が高いものである場合には、本文は旧組織・新組織についてまとめて記載してよいでしょうか。	まとめて記載することは可能ですが、旧組織・新組織がわかるように書き分けてください。
16	Q&A問4-1において、実績報告書の本文および別添についてURLのみの記載は不可、と記載がありますが、文章の補足としてURLを掲載してよいでしょうか。	文章の補足としても、URLのみの記載を行うことはできません。
17	現況分析基本データについて、「透明性の観点から公表する」とありますが、どのような形で公表されるのでしょうか。Power BIレポート等で指標のみ公表、あるいは細かな数値（データ）全てが公表されるのでしょうか。	評価の透明性の観点から公表する予定ですが、詳細は決まっておりません。
18	(Power BIレポートについて、) 部局ごとに各指標データを確認するため、全指標データに部局フィルタを一括する仕組みはありますか。また、大学の執行部や各部局がデータを俯瞰し状況が把握できるようなダッシュボード的な要素は含まれていますか。	11月28日に提供しておりますので、確認してください。
19	現況分析基本データの「その他教員(教育)」「その他教員(研究)」は、どのような場合に使うことが想定されているのでしょうか。	本務教員等の教員定義に当てはまらない場合、調査票「その他教員(教育)」「その他教員(研究)」を選択していただくことを想定しております。
20	現況調査表の特記事項への記載について、現況分析基本データの数値だけでなく、大学基本情報分析レポート等の比較により高水準となっている場合、これらを元にした定量的な実績、成果の記載は可能でしょうか。	現況分析基本データは、すべての現況分析単位ごとに経年かつ共通の項目・定義を用いて、法人の自己評価や評価者による分析に活用するものとして提供しているものです。 しかしながら、第4期においては指標を精選していますので、同じ学系内における他法人の学部・研究科及び研究組織等の比較等によって自法人の強みを分析する際には、大学基本情報分析レポート等による定量的な実績、成果を記載することは構いません。なお、大学基本情報分析レポートは、情報が欠けている可能性がある点や学系分類の定義が異なるといった点に留意してください。

法人から多く寄せられた質疑応答集（現況分析）

※「#」欄黄色塗が修正・追記を行った項目であり、該当箇所を朱書きとしています。

令和7年12月更新版

#	質問	回答
21	実績報告書作成要領P12に、「教育活動に関連するデータ（現況分析基本データ、当該学部・研究科等で所有するデータ等）を活用して、具体的かつ客観的な内容となるよう留意」とありますが、「現況分析基本データ、当該学部・研究科等で所有するデータ等」の「等」で想定されているものがあれば教えてください。具体的に制限や制約はあるのでしょうか。	具体的な制限・制約を設ける想定はありません。
22	「研究活動状況に関する資料」については、指定項目以外に任意で項目の追加が可能となっていますが、追加しない場合、評価に影響はありますか。	任意項目を入力しなかったことをもって、評価において直ちに不利になることはございません。
23	現況分析基本データにおける「治験」と「治験以外の検査等」件数については、産学連携実態調査の定義を元に入力することとなっています。それらの定義について産学連携実態調査では「契約件数」となっている一方で、現況分析基本データでは「受入件数」となっています。契約件数か受入件数かにより数値が大きく異なるため、どちらの定義となるかご教示ください。	現況分析基本データでは「受入件数」と表記されていますが、産学連携実態調査で入力した数値（契約件数）をそのまま入力してください。

法人から多く寄せられた質疑応答集（研究業績）

※「#」欄黄色塗が修正・追記を行った項目であり、該当箇所を朱書きとしています。

令和7年12月更新版

#	質問	回答
1	選定する研究業績について、教員数の2割であるが、端数が生じた場合は切り上げでよいでしょうか。	研究業績説明書で自動計算される業績数（T2セル）を上限としてください。
2	第4期中期目標期間中に新設した組織について、当該研究組織等の研究目的に応じた、組織を代表する優れた研究業績であると判断できれば、新設する前の教員の所属組織における業績を選定してもよいでしょうか。	認識のとおりです。
3	第4期中期目標期間中に新設した組織について、令和7年5月1日時点の教員数によって選定できる研究業績数の上限が変わるため、継続性が高い旧組織の業績数が少なくなってしまうという理解でよいでしょうか。	認識のとおりです。令和7年5月1日時点の教員数によって選定できる研究業績数の上限が決まります。
4	判断根拠に「学術的意義」、「社会的意義」の両方を記載する場合、それぞれの記載文字数は、400字以内であり、かつ、合計800字以内と考えるのでしょうか。例えば、300文字と500文字で記載することは可能でしょうか。	「学術的意義」、「社会的意義」それぞれ400字以内で記載してください。
5	成果物が特許、賞、作品などの場合、内容やどのような点が優れた成果物であるかを「判断根拠」だけでなく、「書誌情報等」にも記載してよいでしょうか。（「判断根拠」へ記載する場合、文字数制限があり、成果の内容説明が困難なケースがあるため）	判断根拠を「書誌情報等」に記載することは認められません。
6	「研究テーマ及び要旨」について、200字以内となっていますが、テーマは文字数に入らないという理解でよいでしょうか。	テーマ名も含めて文字数に入ります。【訂正】テーマ名は文字数に入りません。
7	第3期のScopusから第4期はWeb of Scienceを使用することになっていますが、データベースが変わることにより、参照することができる情報（論文の被引用数）等に違いはありますか。	データベースの提供企業により論文収集の選定基準が異なると認識しています。 第4期はWeb of Scienceを閲覧できるようにしておりますので、適宜活用ください。
8	知財、芸術、文化的意義の面においても参考するデータベースとして具体的に定まっているものがありますか。	本機構から評価者にはWeb of Scienceを参照データベースとして提供する予定です。

法人から多く寄せられた質疑応答集（研究業績）

※「#」欄黄色塗が修正・追記を行った項目であり、該当箇所を朱書きとしています。

令和7年12月更新版

#	質問	回答
9	Web of Science以外に、大学が独自に契約している他社サービスの数値を記載することはできますか。	法人において独自に契約している他者サービスの記載をすることは可能です。別のデータベースを使用した場合には論文の被引用数等の値が異なることもあるため、研究業績説明書の「判断根拠」欄にその旨を記述してください。
10	Q&A問2-21において、「複数の組織で一体的に研究活動が行われている場合には、研究業績説明書における代表的な研究業績として選定できる」とされていますが、「一体的に研究活動が行われている」と認められる場合の具体例を教えてください。	法人にて判断してください。
12	Q&A問4-1において、「実績報告書の本文・別添」についてURLのみの記載は不可とされていますが、別添を付すことが出来ない「研究業績説明書」についてはURLの記載は可能でしょうか。	本文のみの説明で完結するように記載してください。

法人から多く寄せられた質疑応答集（その他）

※（その他）には追記・修正はありません。

令和7年12月更新版

#	質問	回答
1	実績報告書の提出にあたり、特に留意すべき点はありますか。	実績報告書及び別添の図表等は、原則として公表します。 そのため、公表された著作物等を図表等に使用するときには著作権に配慮するとともに、個人情報などの公表にふさわしくないものは、記載しないよう留意してください。
2	評価者へは直近の「大学機関別認証評価結果」等が提供されるとのことですが、受審から年数が経過しているため、改組を経て当時とは学部構成が異なっています。その場合でも古い評価結果が提供されるのでしょうか。	認識のとおりです。直近の評価結果を参考として評価者に提供します。
3	機関別認証評価の結果が活用されるとのことですが、具体的にどのように活用されますか。	評価者によるピア・レビューを中心とする評価を実施しており、評価者が必要に応じて基礎資料として活用していただくために提供しております。
4	機関別認証評価の結果は、基礎資料として評価者に提供されるとのことですが、機構以外の他機関が実施した認証評価の結果も、同様に評価者に提供されるのでしょうか。	認識のとおりです。